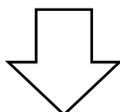


先進工学研究科電子システム工学専攻修士課程  
 <ICTシステム系・コンピューターシステム系> 履修モデル

エレクトロニクスを基幹として、情報処理、計算機システム、計測制御、及び電子デバイスなどの分野を有機的に連携させた広い視野で教育・研究を進めることで、幅広い知識と独創的能力を有し、新しい視点を持って工学の分野に寄与することのできる人材を育成する。

講義 標準履修年次は全科目 1~2 年、特記科目以外は隔年開講（便宜上 M1 と M2 に分けて記載した）		必修科目 (研究指導)	
教養科目		基礎科目	専門科目
M1 前期	Materials Science and Technology Overview 2: Inorganic Materials 技術英語表現法演習 技術英語表現法概論 Basic Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 1 キャリアデザイン考究 国際政治特論 現代物理学特論 物理学から見る理学の世界 1	※M1前期で重点的に履修すべき科目  下記参照のこと	情報伝達特論 コンピュータシミュレーション特論 電子システム工学特別講義1A 電子システム工学特別演習1A 電子システム工学特別実験1A
M1 後期	Materials Science and Technology Overview 1: Metals ウォーターサイエンス特論 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 2 知的財産特論 知財戦略特論 プロセッサアーキテクチャ特論 イノベーション・チーム・ラボ 生物科学特論 物理学から見る理学の世界 2	知識情報処理特論1	電子システム工学特別講義1B 電子システム工学特別輪講1 電子システム工学特別演習1B 電子システム工学特別実験1B
M2 前期	Materials Science and Technology Overview 3: Polymer Materials 現代物理学特論 科学技術研究の倫理 物理学から見る理学の最前線 1 物理学から見る理学の未来 1 実践的リーダーシップを学ぶ	バイオコンピューティング特論	電子システム工学特別講義2A 電子システム工学特別演習2A 電子システム工学特別実験2A
M2 後期	Materials Science and Technology Overview 4: Composite Materials 計算機設計特論 物理学から見る理学の最前線 2 物理学から見る理学の未来 2		電子システム工学特別講義2B 電子システム工学特別輪講2 電子システム工学特別演習2B 電子システム工学特別実験2B
<b>【修了要件】</b> 必修20単位と教養4単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 <b>【参考】 必修科目</b> 電子システム工学特別講義1A・1B・2A・2B, 電子システム工学特別輪講1・2 電子システム工学特別演習1A・1B・2A・2B, 電子システム工学特別実験1A・1B・2A・2B			

備考：修士課程では、学部での基礎・専門教育に続けて、様々な分野の専門性をさらに高め修士論文研究を完成させることを目的として、特に基礎科目は設置せず、全科目1, 2年両方で履修できる形式としている。

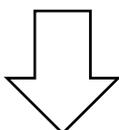


**【修了後の進路】** 情報産業、通信事業、電気・電子機器メーカー、精密機器メーカー、医療機器メーカー、自動車メーカー、電気事業、鉄道事業、金融業、各種研究機関、官公庁等

先進工学研究科電子システム工学専攻修士課程  
 <電子デバイス系・智能制御システム系> 履修モデル

エレクトロニクスを基幹として、情報処理、計算機システム、計測制御、及び電子デバイスなどの分野を有機的に連携させた広い視野で教育・研究を進めることで、幅広い知識と独創的能力を有し、新しい視点を持って工学の分野に寄与することのできる人材を育成する。

講義 標準履修年次は全科目 1~2 年、特記科目以外は隔年開講（便宜上 M1 と M2 に分けて記載した）		必修科目 (研究指導)		
教養科目	基礎科目	専門科目		
M1 前期	Materials Science and Technology Overview 2: Inorganic Materials 技術英語表現法演習 技術英語表現法概論 Basic Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 1 キャリアデザイン考究 国際政治特論 現代物理学特論 物理学から見る理学の世界 1	※M1前期で重点的に履修すべき科目  下記参照のこと	マイクロ波デバイス特論1 非線形システム特論	電子システム工学特別講義1A 電子システム工学特別演習1A 電子システム工学特別実験1A
M1 後期	Materials Science and Technology Overview 1: Metals ウォーターサイエンス特論 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 2 知的財産特論 知財戦略特論 プロセッサアーキテクチャ特論 イノベーション・チーム・ラボ 生物科学特論 物理学から見る理学の世界 2	ナノテクノロジー特論 生体電磁工学特論 電子物性特論1		電子システム工学特別講義1B 電子システム工学特別輪講1 電子システム工学特別演習1B 電子システム工学特別実験1B
M2 前期	Materials Science and Technology Overview 3: Polymer Materials 現代物理学特論 科学技術研究の倫理 物理学から見る理学の最前線 1 物理学から見る理学の未来 1 実践的リーダーシップを学ぶ	電子物性特論2		電子システム工学特別講義2A 電子システム工学特別演習2A 電子システム工学特別実験2A
M2 後期	Materials Science and Technology Overview 4: Composite Materials 計算機設計特論 物理学から見る理学の最前線 2 物理学から見る理学の未来 2			電子システム工学特別講義2B 電子システム工学特別輪講2 電子システム工学特別演習2B 電子システム工学特別実験2B
<b>【修了要件】</b> 必修20単位と教養4単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 <b>【参考】 必修科目</b> 電子システム工学特別講義1A・1B・2A・2B, 電子システム工学特別輪講1・2 電子システム工学特別演習1A・1B・2A・2B, 電子システム工学特別実験1A・1B・2A・2B				



備考：修士課程では、学部での基礎・専門教育に続けて、様々な分野の専門性をさらに高め修士論文研究を完成させることを目的として、特に基礎科目は設置せず、全科目 1, 2 年両方で履修できる形式としている。

**【修了後の進路】** 電気・電子機器メーカー、精密機器メーカー、医療機器メーカー、自動車メーカー、情報産業、通信事業、電気事業、鉄道事業、金融業、各種研究機関、官公庁等